

大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) H28取組概要

上智大学

【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

多様性の調和を目指す学融合型人間開発教育プログラム

【プログラムの目的・養成する人材像】

国際連携に基づく新たな国際高等教育モデルの構築を目指し、ASEANと日本の学生が共に学び合う協働教育のプラットフォームを提供することで、アジアに立脚し域内外の地球規模の課題に対応できる人材を育成する。

【構想の概要】

ASEANと日本の学生が協働し、既存の人文・社会および自然科学の枠組みを超えて「人間開発」に取り組む学融合型プログラム。「ヒューマン・エコロジー:社会と自然の多様性と連結性」を中心テーマとし、学生は約150科目に渡る豊富な科目群から学修計画に基づいて科目を履修すると同時に、受入・派遣学生は共通必修科目「学融合型人間開発入門」のほか、「実地研修型ゼミナール(Human Ecology: Rivers)」、「Summer Session in Asian Studies」を履修できる。

交流プログラムの質の保証

1. **実地研修型ゼミにかかる事前調査および実施(7月・2月釧路)** ⇒釧路の実地研修先を訪問し、ゼミのスケジュール調整や、講師手配、シラバス作成等プログラムの構築を行った。受入学生6名を含む計13名がゼミに参加し、TDHDの学びをフィールドワークで深めた。
2. **ASEAN留学促進ウィークの実施(10月上智)** ⇒本プログラム(SAIMS =Sophia AIMS)の募集説明会、個別相談をはじめ、特別イベントとして学生食堂においてASEAN諸国特別メニューの提供やバンコクに留学中の学生とテレビ会議システムで中継してトークライブを実施し、学内全体のASEANへの関心を底上げした。
3. **SAIMS講演会シリーズの実施(10月上智)** ⇒ASEAN留学促進ウィーク期間中に、アジアで活躍する卒業生を招き、ASEAN地域への留学やアジア諸国での職業経験についての講演会を実施した。卒業後のキャリアにフォーカスした講演は、多くの学生にアジアとの関わり的重要性を認識させることとなった。
4. **第10回レビューミーティングへの参加(11月マレーシア)** ⇒本プログラムに関わる教職員が参加し、連携大学と学生交流に関する進捗報告や課題、今後の協力体制について協議した。本学におけるムスリム学生対応事例がグッドプラクティスとして紹介された。
5. **受入生を対象とした地域交流イベントの開催(11月祖師谷)** ⇒受入生の宿舎となる祖師谷国際交流会館において、同会館が位置する世田谷区住民と協力し、「上智大学祖師谷文化祭」を実施した。プログラム受入生も企画などに参加し、地元の小・中学生をはじめとする地域住民と密度の濃い交流を行った。
6. **連携大学合同協議会の開催(1月タイ)** ⇒連携7大学との合同協議会を連携大学であるチュラロンコン大学で開催し、本プログラムの4年間の成果や課題について共有するとともに、今後の学生交流継続及び促進に向けた協議を行った。
7. **東南アジア教育大臣機構高等教育開発センター主催のフォーラムへの参加(2月タイ)** ⇒本フォーラムへの参加により、課題として捉えられている学生交流の効果測定やプログラム評価について理解を深めるとともに、参加大学とのネットワーキング、情報交換、実務上の協議を行い、関係を深化させた。
8. **国際協働教育評価協力者会議の実施(3月名古屋)** ⇒高等教育の質保証の専門家、国際協力機関や民間企業で海外展開に関わる専門家と共に、プログラム成果の振り返りと継続的発展について議論することで、プログラムを客観的に評価し、事業の改善につなげることができた。
9. **派遣生、受入生フォローアップ研修、エバリュエーションの実施** ⇒留学生生活を総括するフォローアップ研修を行い、留学生生活で得たものを共有しあうことで、成果を定着化・深化させるとともに、今後のSAIMSプログラムの改善点などを議論した。

交流プログラムの内容

ASEAN連携大学

- ◆ **インドネシア**
ボゴール農科大学:食料科学技術
ガジャマダ大学:農業、経済学
- ◆ **タイ**
チュラロンコン大学:言語・文化、経済学
マヒドン大学:国際ビジネス
- ◆ **フィリピン**
アテネオ・ド・マニラ大学:言語・文化、経済学
デ・ラ・サール大学:工学、経済学
- ◆ **マレーシア(H27より追加)**
マレーシア国民大学:国際ビジネス

【目標】
派遣
25~42人
←
→
受入
27人

上智大学 (Sophia AIMS)

学融合プログラム

- ◆ 受入・派遣学生共通必修科目「学融合型人間開発入門」
- ◆ 専任教員による新設科目13科目
Environmental Science, Conservation, Sustainable Development, Urban Ecology, Environmental Change and Human Development, A Critical Approach to Sustainable City
- 【工学】基礎環境科学、応用環境工学など59科目
- 【言語・文化】Culture & Society, Global Affairs, Environmental Studiesなど91科目
- ◆ 豊富な選択科目群
- ◆ Summer Session in Asian Studies (選択)
- ◆ 実地研修型ゼミナール Human Ecology: Rivers (選択)

交流プログラムにおける学生のモビリティ

注)H28までは実績、H29以降は申請時の計画

	H25			H26			H27				H28				H29			
	I	T	P	I	T	P	I	T	P	M	I	T	P	M	I	T	P	M
学生の派遣	0	0	0	2	8	5	5	8	3	1	9	13	13	2	14	13	13	2
学生の受入	0	0	0	3	1	4	4	11	10	1	1	8	10	2	27			

I:インドネシア T:タイ P:フィリピン M:マレーシア(H27より追加)

外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

【受入・派遣共通】

- ・プログラムコーディネータによる留学生サポート
- ・プログラム専任教員による履修相談体制
- ・受入派遣学生が共に学べる学融合プログラム構成
- ・プログラムオリエンテーション、交流会の実施
- ・フォローアップ研修によるプログラム成果のアセスメント
- ・専用サイト、Facebookによる情報提供・共有およびプロモーション
URL: <http://dept.sophia.ac.jp/pj/saims>
Facebook: <https://www.facebook.com/Sophia.AIMS.SAIMS.Program>

【受入】

- ・英語対応可能な常勤カウンセラーによる相談体制
- ・「上智大学祖師谷文化祭」等を通じた国際学生寮での日本人学生および地域住民との交流

【派遣】

- ・留学フェア、プログラム説明会、の実施
- ・渡航前危機管理ガイダンス、留学ガイダンスの実施
- ・プログラム参加者による留学報告会の実施



実地研修型ゼミナールの実習地釧路にて

必修科目TDHDの授業の様子

派遣学生・受入生合同留学報告会

ASEAN留学促進ウィークのトークライブ